

この度は、ジャイアントの製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書をよくお読みになり、安全にご活用ください。

輪行をする際にはご利用になる交通機関にお問い合わせいただき、各交通機関のルールに従ってください。

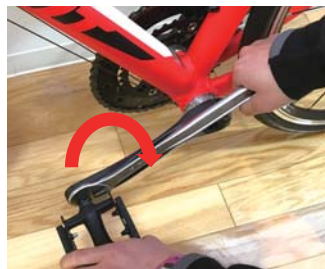
本書に掲載されているブレーキの解除・車輪の外し方はモデルにより異なる場合があります。

## 1. 輪行バッグを広げる



輪行バッグをポーチから出し、巾着袋の口を広げたまま地面におきます。

## 2. ペダルを外す



ペダルを外すには、ペダルレンチまたは六角棒レンチが必要になります。ペダルのタイプによって異なりますので、ご確認の上ご用意ください。



※ ペダルには左右向きがあり、左ペダルはねじが通常の逆向きになります。左ペダルは写真の→の向きに工具を回します。

※ ペダルを外さなくても収納は可能ですが、ペダルを外した方がよりコンパクトになり、車体の傷付きを防ぐことができます。外したペダルはポーチに入れておくくと便利です。

## 3. 自転車を逆さにして、輪行バッグの上におく



バッグ底面のハンドルバーのプリントを確認します。



プリントの位置上にハンドルバーが来るように、自転車を逆さにして広げた輪行バッグの上に置きます。ハンドルとサドルの3点で支えるためバイクが自立し、安定して作業できます。

### ⚠ 注意

バイクを逆さにする前に、誤作動を防ぐためライトやコンピューターは外すことをおすすめします。また、ボトルケージからボトルが落ちたり中身が漏れる可能性があるため、外すことをおすすめします。

## 4. ブレーキを解除する



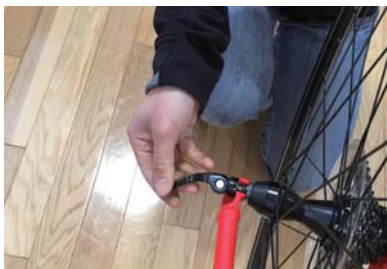
ブレーキ本体のクイックリリースを解除します。ブレーキパッドが左右に広がり、車輪を取り外しやすくなります。

### ⚠ 注意

※ ブレーキ本体のクイックリリースの解除方法はコンポーネントメーカーにより異なるため、事前に確認してください。

※ 再度車輪を取り付ける際は、ブレーキのクイックリリースを元の位置に戻してください。

## 5. 前後輪を外す



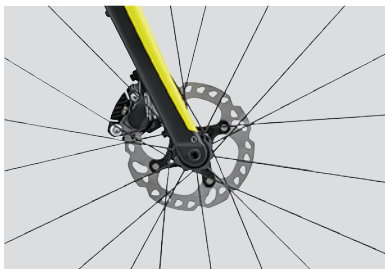
クイックリリースレバーを解除し、前後の車輪を外します。



前輪はクイックリリースレバーを反時計周りに5-6回ほど回し、上に引き抜くように外します。



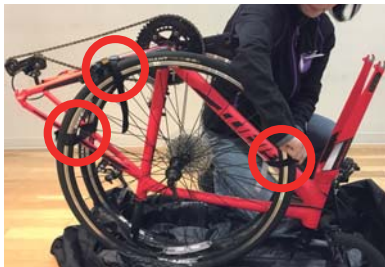
後輪は後ギアをトップに入れ、変速機から持ち上げるようにして外します。



### ⚠ 注意

- ※ スルーアクスルを採用したバイクでは、レバーの解除方法が異なる場合があります。車輪の外し方を事前に確認してください。
- ※ 油圧式ディスクブレーキを採用したバイクでは、車輪を外した後、ブレーキパッド間にパッドスペーサーをいれておくことをおすすめします。

## 6. 外した前後輪を車体に固定する

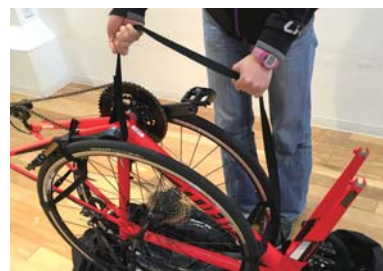
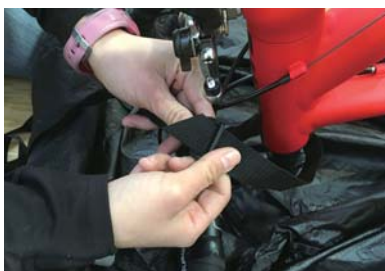


### ⚠ 注意

- ※ ストラップは車輪のスポークなど変形しやすい位置で固定しないでください。また、車体に傷がつかないように、気になる部分には当て布をするなど対策をおすすめします。
- ※ ディスクブレーキの場合、ローターが曲がったり、ローターで車体を傷つけたりしないようご注意ください。

外した前後輪を車体を挟み込むように置き、付属のストラップで固定します。運搬時に車輪がずり落ちないように、3箇所以上で固定してください。

## 7. ショルダーストラップを固定する



ショルダーストラップを車体に固定します。ショルダーストラップは、アジャスターを使い、輪っかを作るようにヘッドチューブとBBあたりに通してください。ストラップの長さはアジャスターで調節可能です。バッグを肩に掛けた時、地面に引きずらない長さに調節してください。

ショルダーストラップを掴んで車体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されているか確認します。車輪がずり落ちる場合は、再度ステップ6に戻りしっかりと車輪を車体に固定します。

## 8. 輪行バッグを被せる



車体全体を包むように、輪行バッグを下から引き上げていきます。



ショルダーストラップをバッグの外に出し、バッグ中央のベルクロテープを塞ぎます。

### ⚠ 注意

輪行バッグの中に車体を全て収めてください。収納が不完全なまま運搬すると、自転車の一部が飛び出してケガをするおそれがあります。

## 9. バッグの口を閉じ、完成



ドローコードを引っ張り、バッグの口を閉じます。



余ったドローコードを束ね、ベルクロテープで留めます。

Have a great journey !

